

RFMD ニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com



rfmd.com

RFMD 社、デュアルバンド携帯端末用の GSM/GPRS PA モジュールを発売

フロリダ州オーランド、2007年4月2日 (CTIA WIRELESS): 移動通信を推進する各種アプリケーション向け高性能無線システム/ソリューションの設計、製造で世界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)がデュアルバンドのパワーアンプ (PA) モジュールRF3198を本日発表した。PowerStar™ PAモジュールRF3198は、デュアルバンド携帯端末用に性能が最適化された実装容易なソリューションで、エントリーレベル端末や買換えの市場を対象にしている。

「当社では、エントリーレベルや買換え市場が中心の端末でRF3198 PowerStar PAモジュールが機能単位での所有コストが最も低いソリューションとなることを期待しています。当社は世界中で大手携帯端末メーカー向けに最低の所有コストで信頼でき実績のあるソリューションを提供できる、エントリーレベルや買換え市場向けパワーアンプのナンバーワンメーカーです。」とRFMD社のコンポーネント事業部長、コンラッド・アルバリノ氏は語る。

RF3198の投入で同社のパワーアンプ製品群が充実するほか、このRF3198は出力制御機能の内蔵を特長とする世界的ベストセラー、PowerStarファミリーの最新世代を代表するPA製品となる。RF3198の導入は3GSM世界会議で最近発表された各種PA製品ラインを補完するデバイスで、エントリーレベルや買換え市場、GSM/EDGE端末、3G マルチモード端末など拡大中の携帯電話端末市場の中でも最も顕著な成長領域に的を絞っている。携帯電話市場は世界最大の民生用電子機器市場で、2006年には約10億台もの端末が販売されている。

RF3198はアイソレーションや高調波レベル、帯域間結合などの特性が改善されているためRF系の複雑さが軽減されるほか、アンテナやRFスイッチも柔軟な選択が可能になる。さらにこれらの改善で校正が簡単になり生産ラインの歩留まりが向上するなど市場投入リードタイムが短縮され、総所有コストが低減する。このRF3198は、エントリーレベルや買換え市場向けの標準量産品として定評があり、最も実績のあるPowerStar PAモジュールRF3146シリーズとピン互換性がある。

RF3198は7x7x0.9mmの低価格パッケージで提供され、有害物質の使用制限 (RoHS) に完全に適合する。RF3198の価格は100万個ベースでの単価が\$0.98となる。

RFMD 社について RF Micro Devices, Inc. RFMD 社(NASDAQ RFMD)は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。

RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###